

部局名	生涯学習部	所属名	生涯学習振興課	所属長名	多田 雅子	電 話	481-0309
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4145		事務事業名称	中央図書館等整備事業					短縮コード	経常		臨時	4145
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	01	社会教育総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		社会教育法，図書館法						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
図書館全体の中核として，資料提供，保存機能，管理機能，地域図書館の活動を支援し，総括館としての役割を果たす中央図書館が八千代市に必要となった。また，市民の自主的な文化芸術活動を支援する市民ギャラリーや収蔵美術品の保管や収蔵美術品を展示するスペースを併せ持つ複合施設として整備を図る。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして					
中央図書館・市民ギャラリーの整備について，都市再生整備計画による「社会資本整備総合交付金」を活用し，市民ギャラリーについては，仮称八千代市市民の美術館建設基金を併せて活用していく予定で，平成26年度中の竣工を目標としている。						大項目（節）	02	第2節生涯学習					
						中 項 目	01	1. 生涯学習					
						小 項 目	03	(3)市民の学びの環境整備					
						細 項 目	02	②生涯学習関係施設の整備・充実					
					実施計画の計画事業	2027	八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業						
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 1 中央図書館・市民ギャラリー整備事業基本設計業務公募プロポーザルの実施 2 中央図書館・市民ギャラリー整備事業に係る基本設計業務委託業者選定委員会の設置及び開催 3 中央図書館・市民ギャラリー整備事業基本設計業務委託 4 中央図書館・市民ギャラリー整備事業用地地質調査・解析業務委託 5 中央図書館・市民ギャラリー整備事業説明会の開催（2回）								
	※平成24年度に計画していること： 中央図書館・市民ギャラリー整備事業実施設計業務委託								
意図 （何を狙っているのか）	中央図書館及び市民ギャラリーを整備し，多様化する市民の生涯学習ニーズに対応する。								
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外								
区 分					単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
						実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	中央図書館・市民ギャラリー整備事業に係る基本設計業務委託	人	0	7	7	0		
	指標 2	中央図書館・市民ギャラリー整備予定面積	m ²	5,800	5,800	6,089	6,089		
	指標 3								
活動指標	指標 1	中央図書館・市民ギャラリー整備事業に係る基本設計業務委託	回数	0	4	4	0		
	指標 2	中央図書館・市民ギャラリーの整備面積	m ²	0	0	0	0		
	指標 3								
成果指標	指標 1	中央図書館・市民ギャラリーの整備面積進捗率	%	0	0	0	0		
	指標 2								
	指標 3								
上位成果指標	指標 1								
	指標 2								
	指標 3								

コード		4145	事務事業名称	中央図書館等整備事業		所属名	生涯学習振興課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				30,127
		県	千円				
		地方債	千円				71,800
		一般財源	千円	0	53,768	52,360	8,102
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			予算措置なし	報償費 564千円 委託料 53,204千円	報償費 340千円 委託料 52,020千円	旅費 29千円, 委託料 110,000千円
	人件費 (B)		千円	13,527.4	19,579	20,494	20,494
トータルコスト (A) + (B)		千円	13,527.4	73,347	72,854	130,523	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		八千代市内の図書館サービスの中核として機能を有する図書館が必要である。また、市民の自主的な文化芸術活動を活性化し、文化振興の促進につながるよう市民ギャラリー施設を整備することも必要な施策であり、「市民の学びの環境整備」に結び付く。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		平成21年度に中央図書館等整備計画を策定、22年度は調査・研究、23年度は基本設計、24年度は実施設計、25、26年度で建設し、平成26年度の竣工を目指している。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		現在ある地域図書館4館及び各文化センター等で蓄積された運営のノウハウや市民ニーズ等を考慮し行政が整備するものである。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		所期目的の変更はなく、現状の「対象」・「意図」の設定で結果に結びつく。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2、3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		新川周辺地区都市再生整備計画事業として、事業を実施しており、可能性はないものとする。また、公募型プロポーザル方式により、有効性の優れた基本設計者を選定し、事業を実施しているため。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性がある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
						2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	4145	事務事業名称	中央図書館等整備事業				所属名	生涯学習振興課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			中央図書館等整備計画及び新川周辺地区都市再生整備計画等に基づき、事業の推進を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業の推進により、整備に係る事務が大幅に増大していることから、職員を増員し対応を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
平成21年8月に実施した第9回市民意識調査では、生涯学習・文化・スポーツ活動を充実させるために望むことの設問に対し、「公民館・図書館などの設備を充実する」が29.1%と高い割合を示した。平成21年12月実施した「新川周辺地区都市再生整備計画に関するアンケートの結果報告」では、図書館・市民ギャラリーに対する市民満足度を見ると、満足7.6%，やや満足9.0%，普通46.1%，やや不満22.8%，不満13.8%という結果でした。									

所属長コメント	八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業は平成23年度、公募型プロポーザルですぐれた技術力を持つ基本設計者を選定し、併せて、用地の地質調査や地盤解析調査も実施し、その結果を反映した基本設計を行うことができた。基本設計を引き継ぎ、平成24年度の実施設計に入っている。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									